

ドライブレコーダー 取り付けKIT	適応車種	商品NO.
	CB1000F (26) CB1000F SE (26)	63372

■ご使用前に必ずご確認ください■

※本商品のご使用前に最終項に記載のURL（保証規定）より保証規定の内容を読み、ご理解のうえご使用ください。

※本商品の使用をもって、本書と保証規定の内容の全てを理解・承諾したものとみなします。本書内の注意事項を守らず使用したことによる事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。

※本書は、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。また第三者に譲渡する場合は、必ず本書も併せてお渡しください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

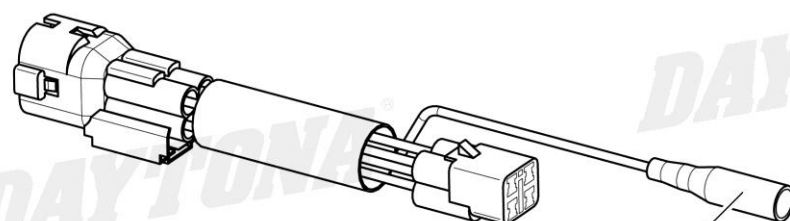
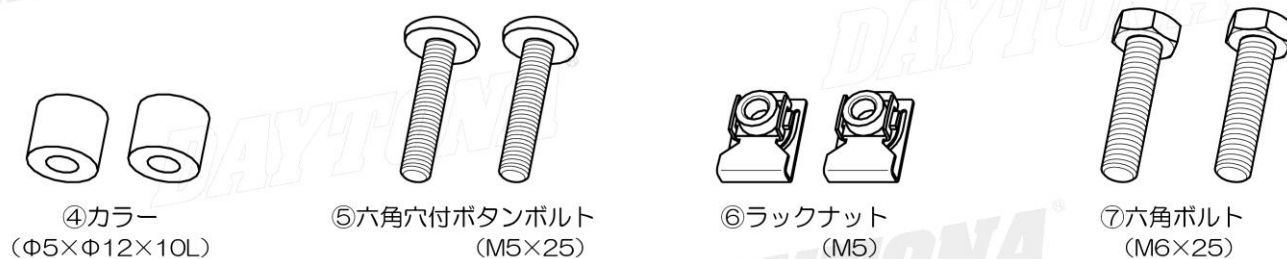
	禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		その他の警告及び注意を告げるものです。
禁止		実施		その他	

⚠ 警告	要件を満たさず使用しますと、死亡または重傷に至る可能性や第三者の生命や財産を損なう可能性が想定される場合を示してあります。
	- 本商品は記載されている適応車種以外の車両には使用しないでください。 - 本商品および装着品が車両各部や他部品に接触する取り付けはしないでください。 - 本商品を取り付けたことにより、運転操作に支障をきたす、または走行が妨げられる取り付けはしないでください。 - 本商品に曲げ・切削・溶接などの加工を行なわないでください。商品や車両側の破損だけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。
	- 取付前に取付箇所の純正部品や車両に欠損や破損がないか確認してください。異常が見られる場合は新品に交換するなどしてください。 - 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を必ず点検してください。異常があった場合は、商品の使用または車両の走行を中止し、認証工場や販売店へご相談してください。

⚠ 注意	要件を満たさず使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
	- 商品取り扱い時に商品の端面や商品に突起やバリなどがあり予期せぬケガや事故が発生する場合があります。取り扱いの際は必ず保護手袋を着用しケガには十分に注意して作業を行ってください。またエッジや突起部がある場合はヤスリなどを使用して適切な処理を行ない、取り除いてください。 - 本商品を開梱の際は構成部品に外観の不具合や異常がないことを必ず確認してください。万一お気づきの点があれば、ご使用前にお買い求めの販売店へ速やかにご相談ください。 - 作業は適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗または認証工場にて脱着作業をご依頼ください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に、車両や商品の損傷や不具合などに繋がる場合があります。 - 作業は周囲の安全を確保し、安全な場所で車両を固定させたくうえで、転倒やケガに十分注意して作業を行ってください。 - 取り付けは各作業に適した工具をご使用ください。不適切な工具を使用すると部品の破損やケガをする可能性があります。 - ボルトやナット類の締め付けにはトルクレンチを使用し、所定トルクまたは車両メーカー発行のサービスマニュアルで指示されたトルクで確実に締め付けてください。 - 本商品の取り付け後は、バッテリーの端子にゆるみがないことを必ず確認してください。また端子への接続が、必ず面で接触していることを確認し、異物の噛み込みで浮いていないことを確認してください。 - 取り付け後に約 100km 走行しましたら各部を必ず点検整備し、必要に応じてネジの増し締めを行ってください。その後は約 500km 毎に同様の作業を行ってください。
	- 商品保証は本商品のみが対象になります。また本商品を装着したことによる物的損害や人的損害などの補償は一切お受けできません。 - 本商品はドライブレコーダー（Mio M802WD／Mio M820WD）を取り付けるために設計されています。これ以外の商品や社外パーツの取り付けはしないでください。 - 本商品の車両への取り付けやカメラの装着はすべて使用者本人の責任において行なってください。 - 本商品で装着した物の脱落や破損、故障などにつきましては一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。 - 本商品は新車の車両状態を前提に設計しています。取付部周辺の部品を交換されていたり、社外パーツを装着されていると取り付けができない場合がございます。 - 本商品は素材や製造方法により製品個体差があります。塗装や小キズ、歪みなど程度の差がございます。 - 本商品はスチール製の塗装商品になります。ご使用の環境や経年変化によらず使用消耗や素材劣化（サビ含む）が、早期から進行する場合があります。 - 定期的に各部の点検を行ってください。また塗装のはがれやキズ、サビなどが発生した場合は適切な補修を行ってください。補修せずに使用すると素材劣化が促進され、本商品の破損だけでなく、車両へのダメージの原因となります。 - 本商品を取り付けた場合に車両側の取り付け面や、その周辺にキズが付く場合があります。 - 本商品、または本書でご紹介した商品は予告なしに価格や仕様を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

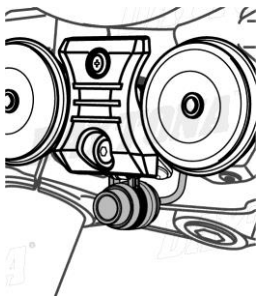
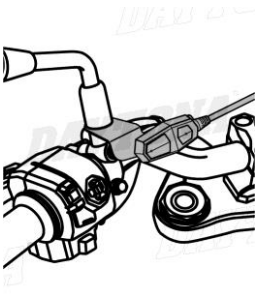
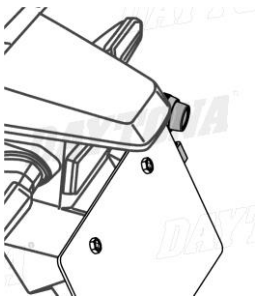
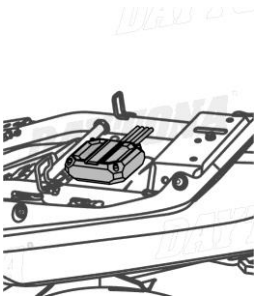
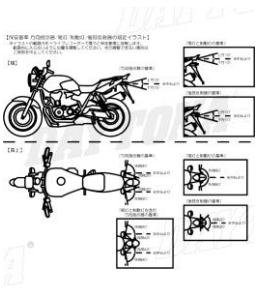
商品内容

NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ (mm)	数量
①	フロントカメラステー		1	⑦	六角ボルト (シルバー)	M6×25 (P1.0)	2
②	コントロールスイッチステー		1	⑧	丸型端子		2
③	リアカメラステー		1	⑨	ギボシ端子オス	CA103 ※1 個予備	2
④	カラー		2	⑩	スリーブ	※1 個予備	4
⑤	六角穴付ボタンボルト (ブラック)	M5×25 (P0.8)	2	⑪	電源取出しハーネス		1
⑥	ラックナット	M5	2	⑫	結束バンド	150mm	5



プラス線 (赤) (CB103 端子)

取付手順

A: フロント カメラステー	B: コントロール スイッチステー	C: リア カメラステー	D: 電源ハーネス & 本体	E: 保安基準
				
P3~5 参照	P6 参照	P7~8 参照	P9~12 参照	P13 参照

取付方法

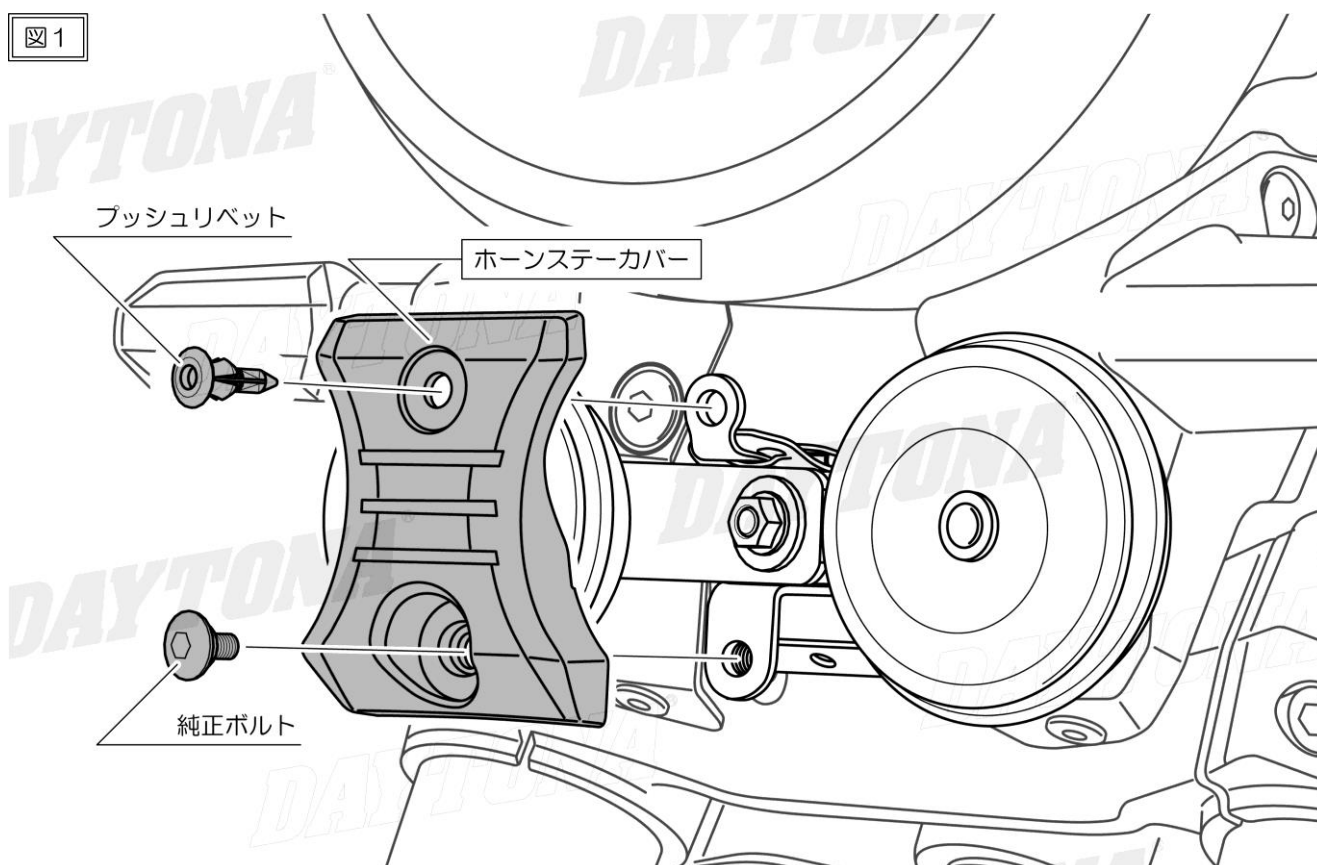
【作業前の注意事項】

- ・純正部品の取り外しや取り付けについては、各メーカー発行のサービスマニュアルに従い、正しく行なってください。
- ・作業を始める前に周囲の安全を確認し、車両を安定させた状態で転倒やケガなどに十分注意して作業してください。

O1. ホーンステーカバーの取り外し 『A: フロントカメラステー』

- ・図 1 を参考に、プッシュリベットと純正ボルト（1 本）を外し、ホーンステーカバーを取り外します。

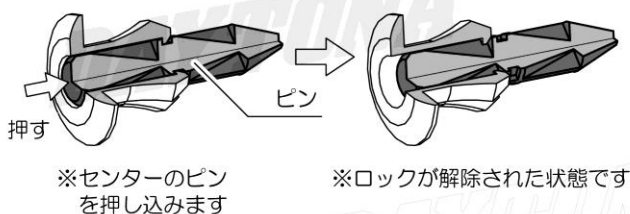
図 1



プッシュリベットの取り外し方法

ロック中

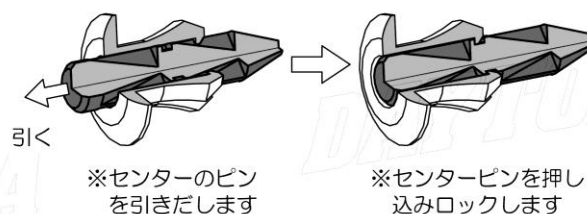
解除



プッシュリベットの取り付け方法

セット

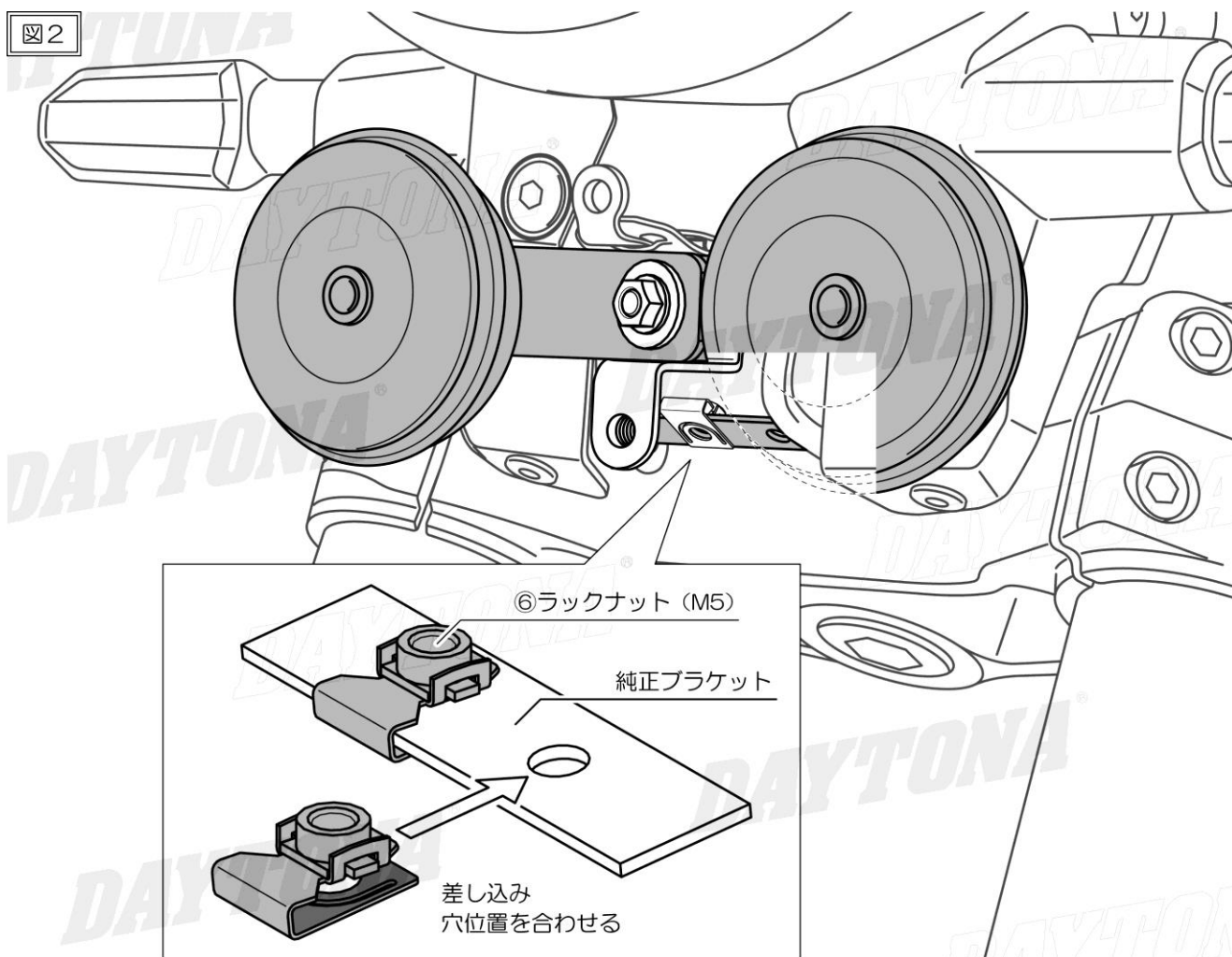
ロック



02. フロントカメラの仮組み 『A: フロントカメラステー』

- ・図2を参考に、純正ブラケットに⑥ロックナットを差し込み、穴位置を合わせます。

図2

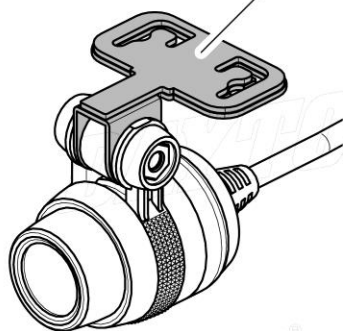


03. フロントカメラの仮組み 『A: フロントカメラステー』

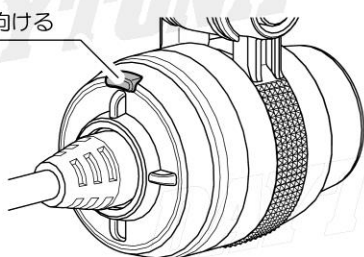
- ・図3を参考に、フロントカメラに組み付けられたカメラステーと六角穴付ボルト (M4×16)、カラーを取り外します。
- ・①フロントカメラステーに、六角穴付ボルト (M4×16) とカラーを使用し、フロントカメラを仮組みします。

図3

フロントカメラに組み付けられた
カメラステーを取り外します



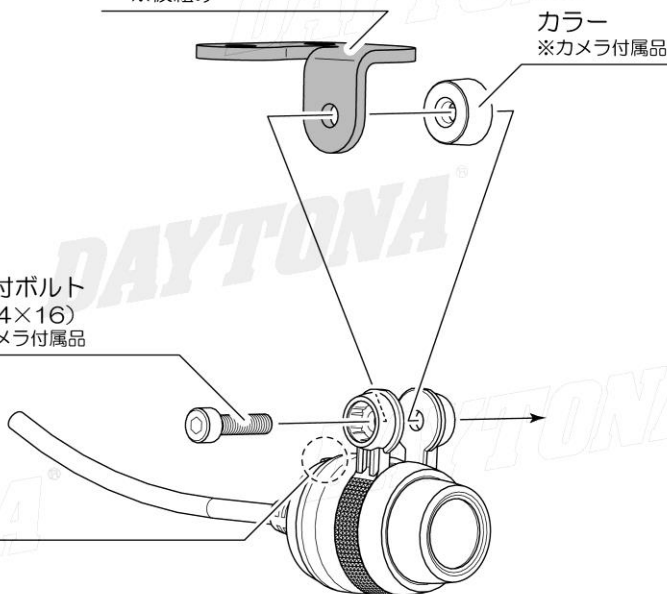
上に向ける



①フロント
カメラステー
※仮組み

カラー
※カメラ付属品

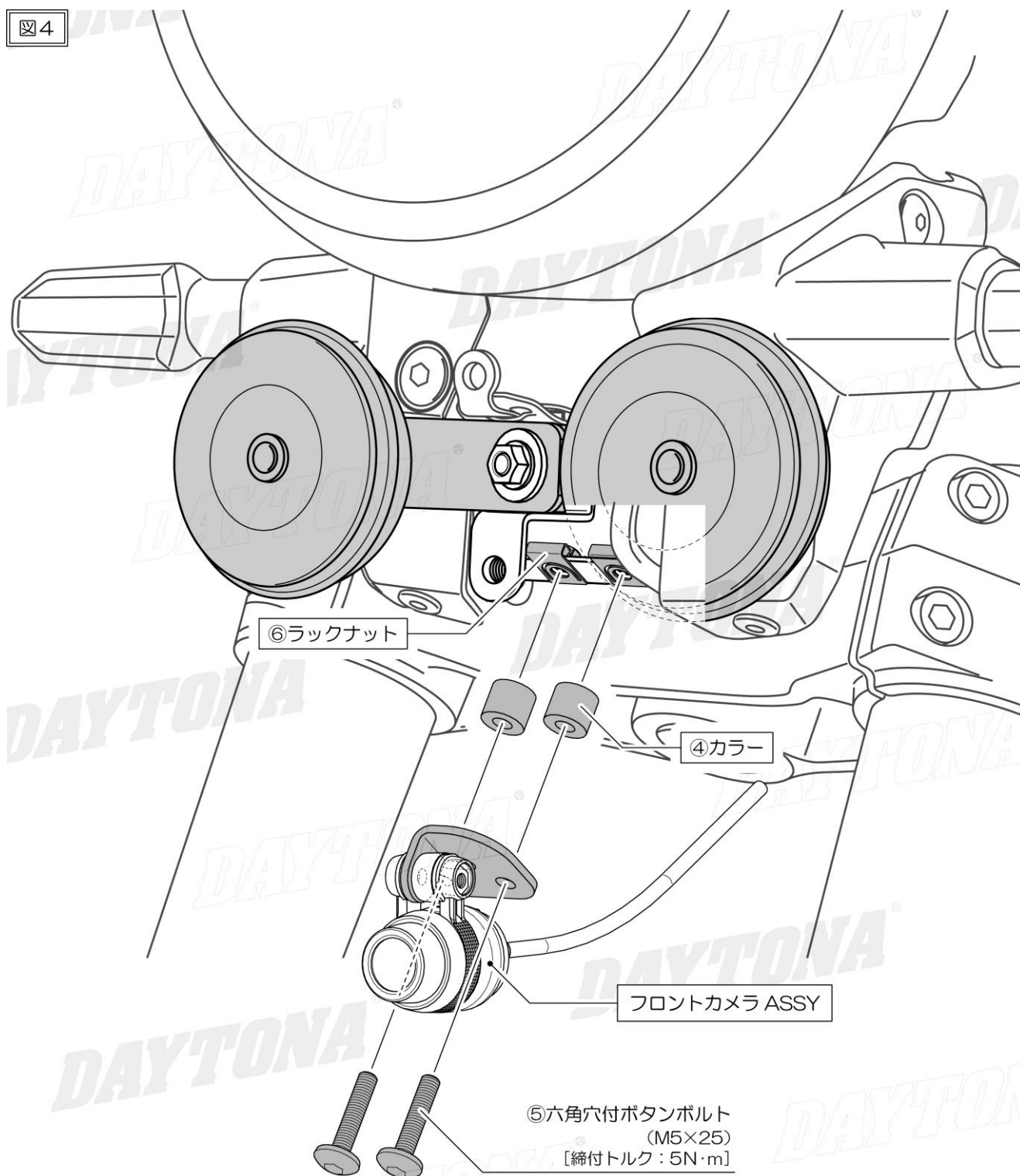
六角穴付ボルト
(M4×16)
※カメラ付属品



04. フロントカメラの取り付け 『A: フロントカメラステー』

- 図 4 を参考に、先程仮組みしたフロントカメラを④カラー（2個）と⑤六角穴付ボタンボルト（M5×25/2本）を使用して取り付けます
- カメラの向きを調整して固定します。
- 手順 01 で取り外したホーンステーカバーを取り付けます。

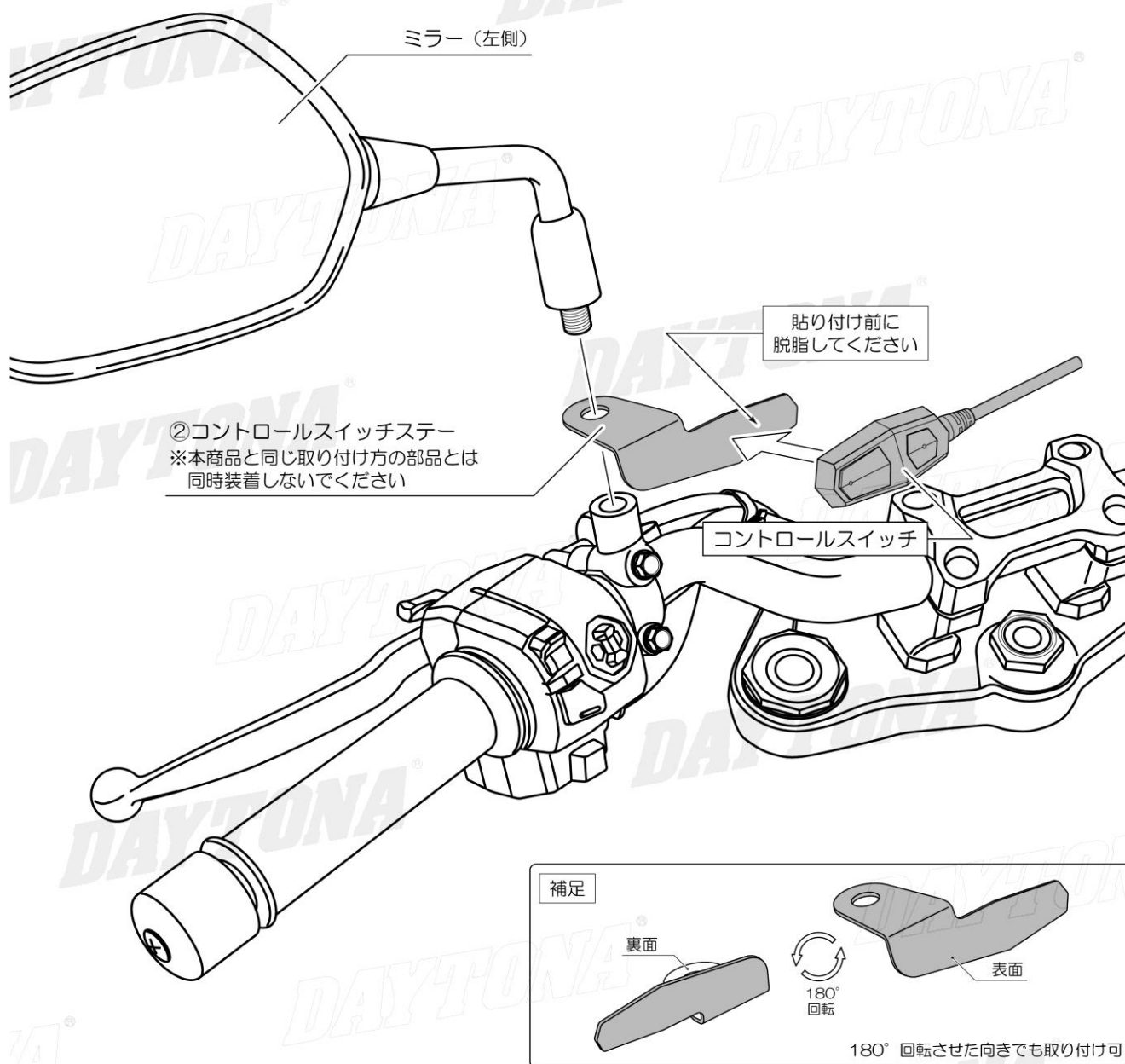
図 4



05. コントロールスイッチステーの取り付け 『B: コントロールスイッチステー』

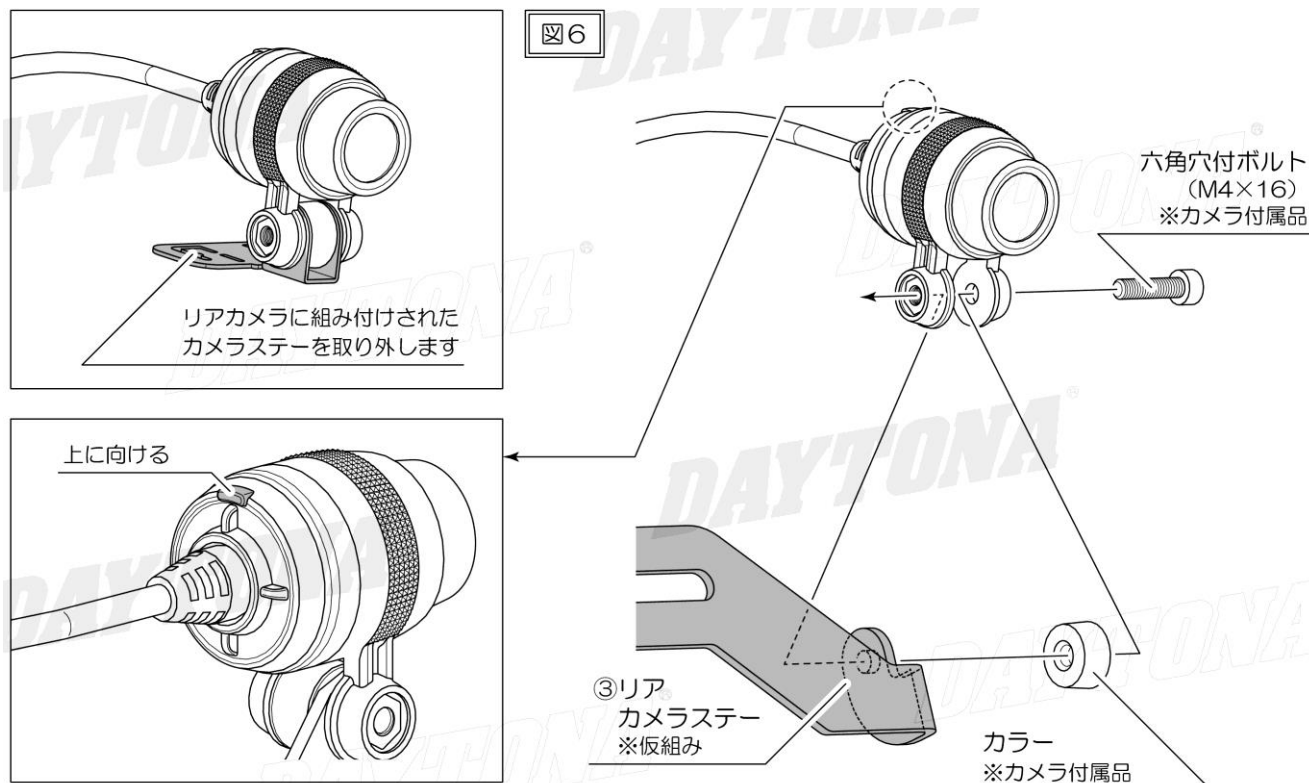
- 左側の純正ミラーを取り外します。
- 図 5 を参考に、②コントロールスイッチステーを純正ミラーと共締めして取り付けます。
- ②コントロールスイッチステーを脱脂して、その場所にコントロールスイッチを貼り付けます。
※ハンドルを左右にきって、タンクや車体などに接触しないか確認してください。

図5



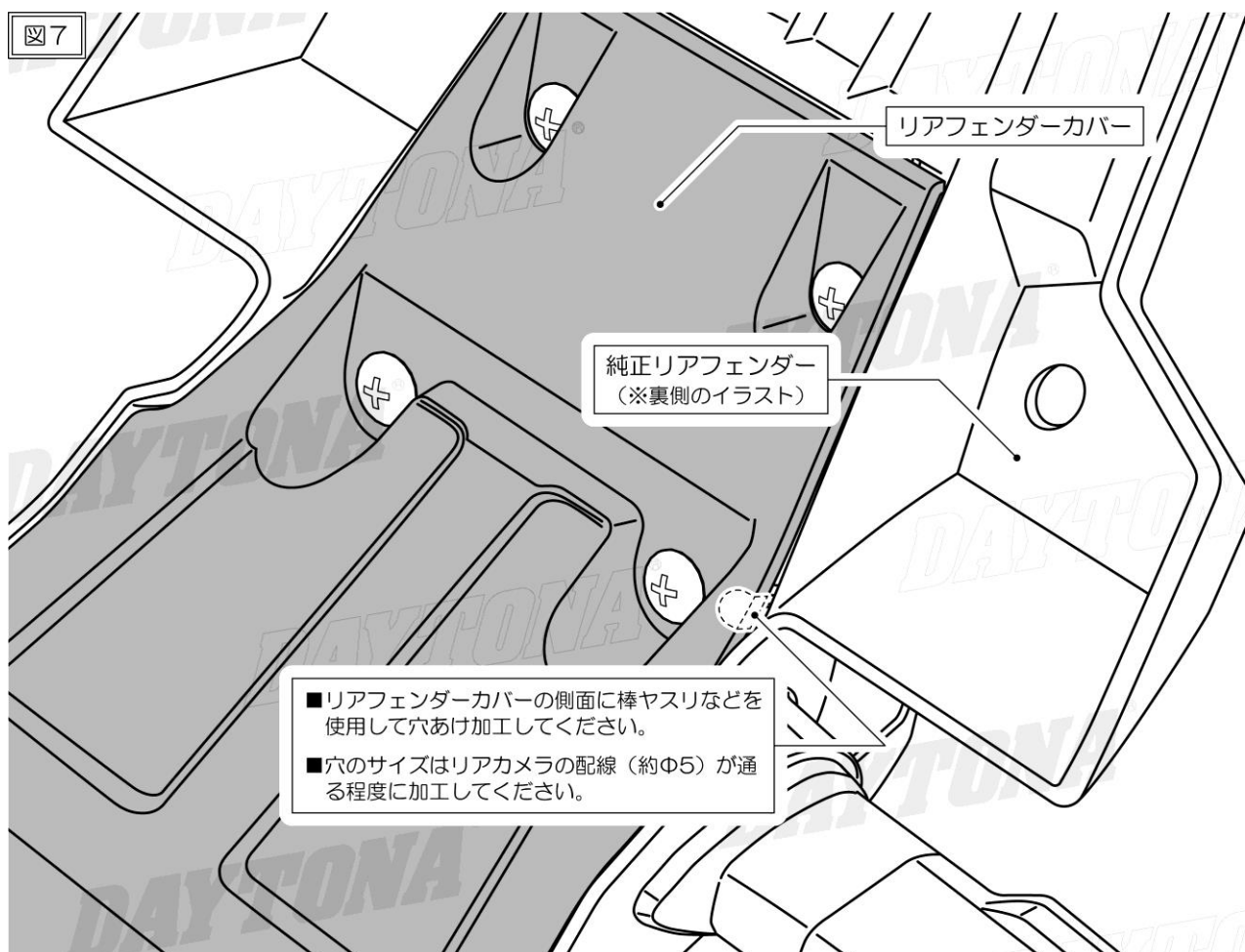
06. リアカメラの仮組み 『C:リアカメラステー』

- ・図6を参考に、リアカメラに組み付けられたカメラステーと六角穴付ボルト（M4×16）、カラーを取り外します。
- ・③リアカメラステーに、六角穴付ボルト（M4×16）とカラーを使用し、リアカメラを仮組みします。



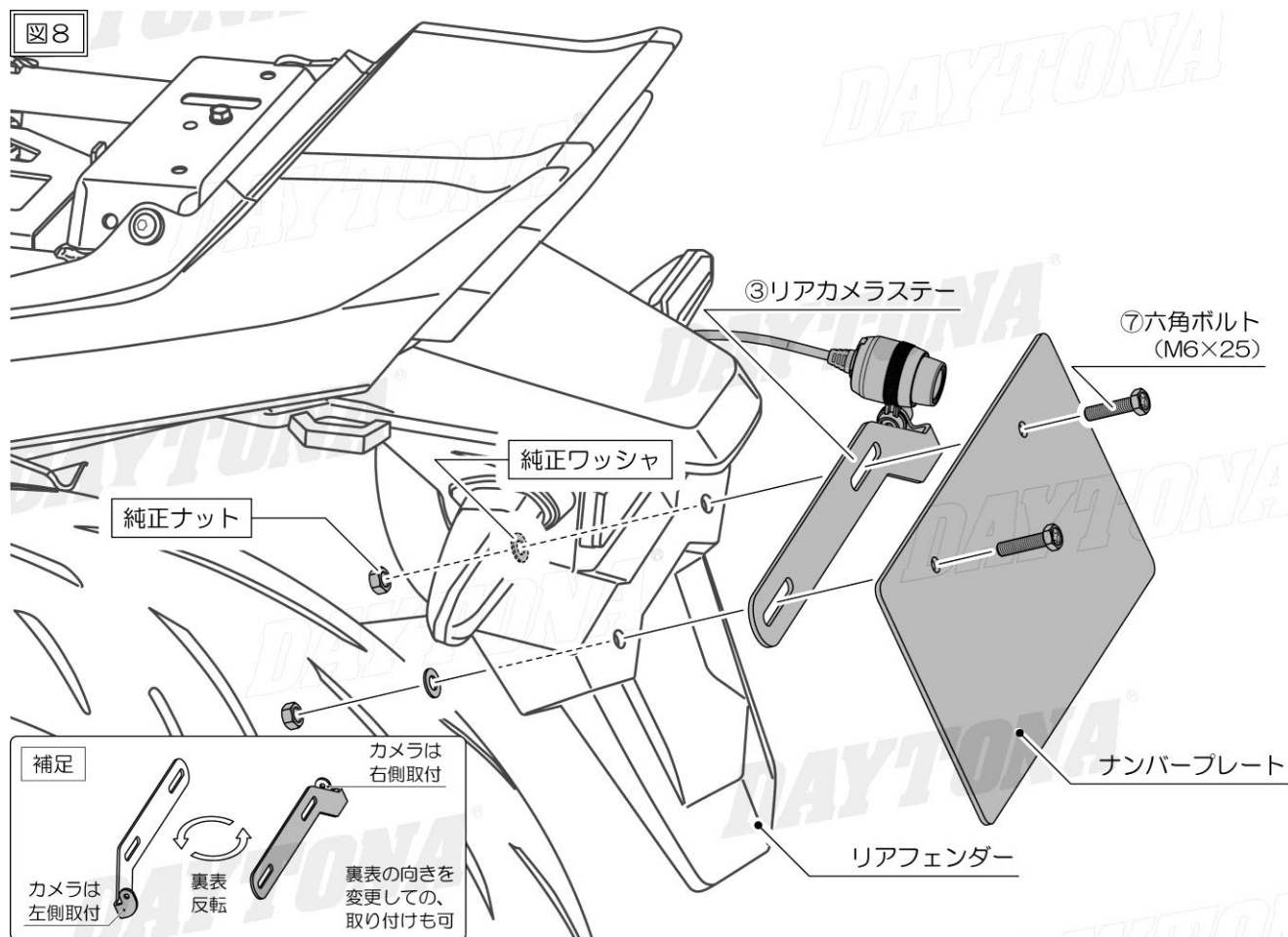
07. 純正リアフェンダーの加工 『C:リアカメラステー』

- ・図7を参考に、純正リアフェンダー裏側のリアフェンダーカバーに、リアカメラの配線用の穴あけ加工を行ないます。
※イラストの穴あけ加工の位置は推奨です。自己責任に置いて配線用の穴あけ加工を行なってください。



08. リアカメラステーの取り付け 『C: リアカメラステー』

- ・ナンバープレートを外します。
- ・図8を参考に、③リアカメラステーを⑦六角ボルト（M6×25／2本）と純正ワッシャ（2枚）、純正ナット（2個）を使用してリアフェンダーとナンバープレートと一緒に固定します。



09. 端子のカシメ加工 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 9 を参考に、⑧丸型端子と⑨ギボシ端子オスをドライブレコーダーの 12V 電源ケーブルへカシメ加工します。

図9 各端子の取り付け

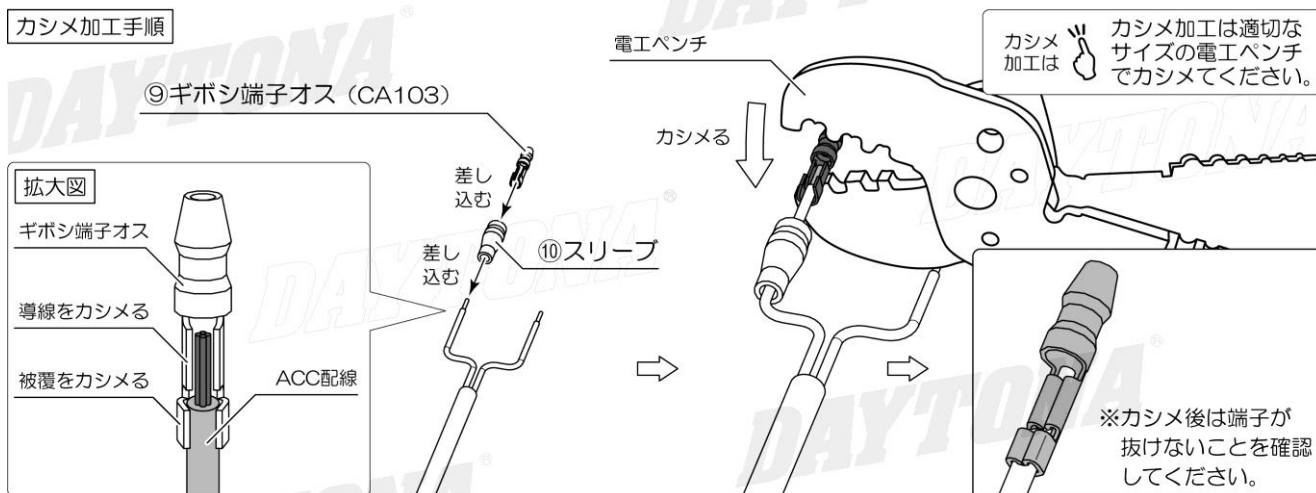
◇ドライブレコーダーの12V電源ケーブルへ、下の各端子をカシメ加工してください。

※カシメ加工手順のイラストはCA103端子をカシめる例です。

※12V電源ケーブルの配線色は変更される場合がございます。ご注意ください。



カシメ加工手順

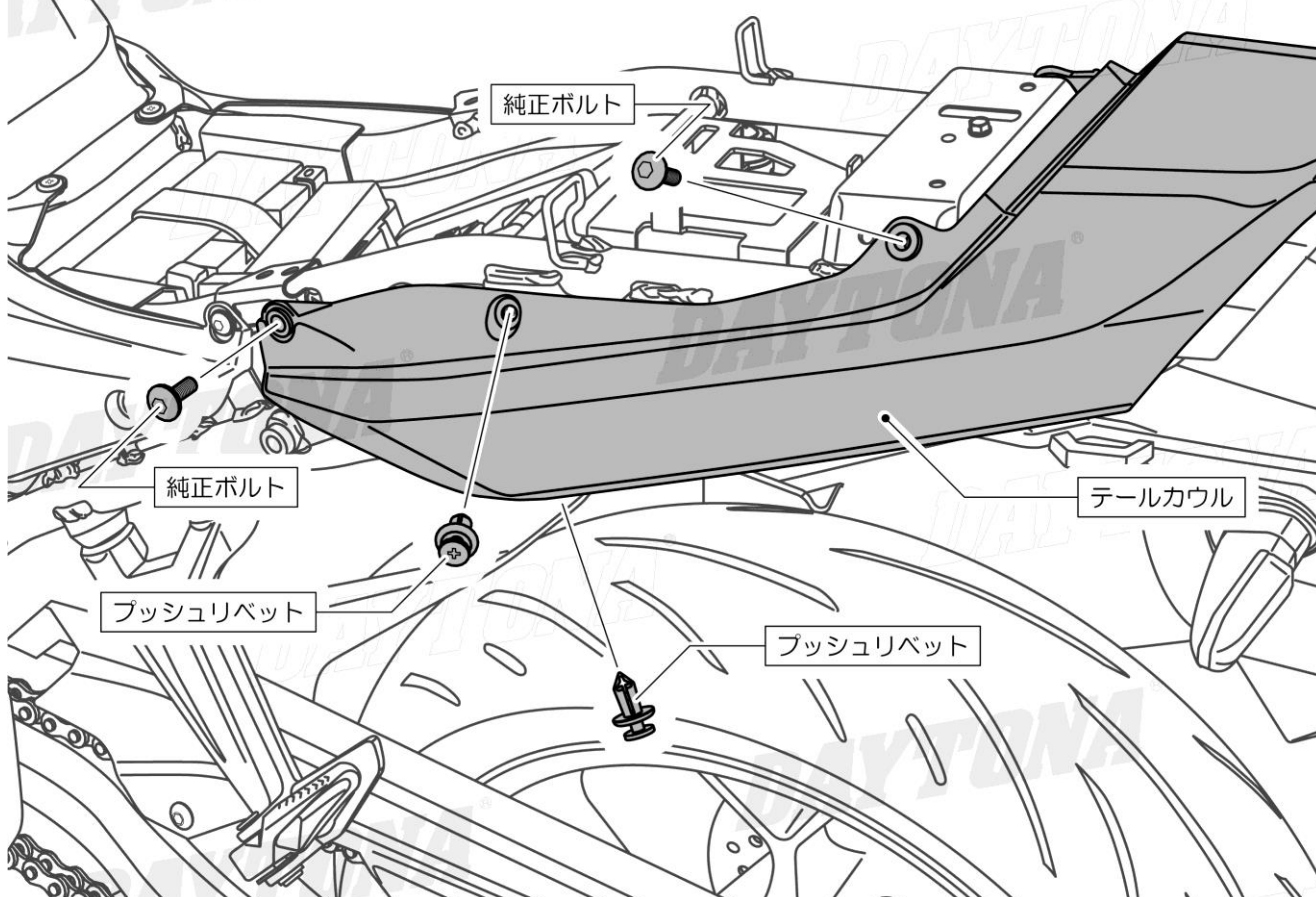


10. テールカウルの取り外し 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 10 を参考に、テールカウルの左右にある純正ボルト（4本）とブッシュリベット（4本）を外して、テールカウルを取り外します。

図10

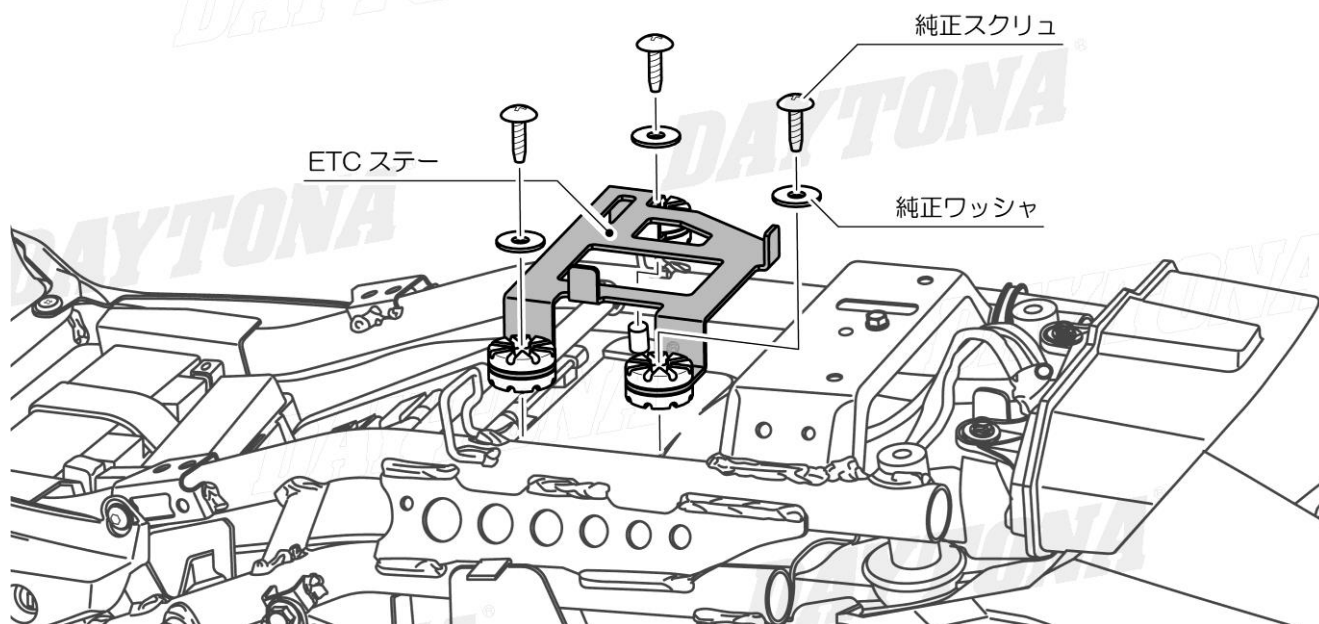
※右側も同様に外します



11. ETC ステ어의取り外し 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 11 を参考に、純正スクリュ（3本）と純正ワッシャ（3枚）を外し、ETC ステアを取り外します。

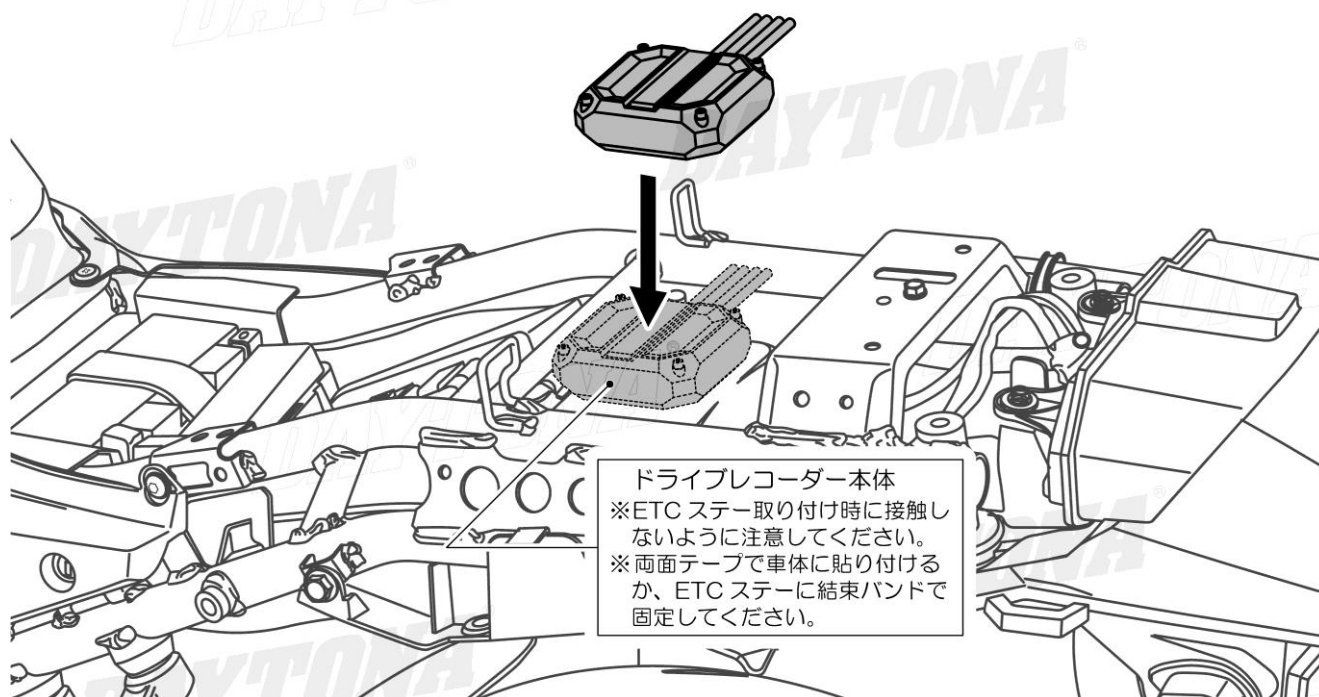
図11



12. ドライブレコーダー本体の設置 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 12 を参考に、先ほど外した ETC ステアの下へ、接触しないようにドライブレコーダー本体を貼り付けます。

図12



13. 電源ハーネスの接続 『D：電源ハーネス&本体』

- ・図 13 を参考に、シートレール右側にあるハーネスブーツ内より4極カプラーを探し、⑪電源取出しハーネスを割り込ませます。
- ・⑪電源取出しハーネスのプラス線に 12V 電源ケーブルの ACC 線を接続します。
- ・12V 電源ケーブルのプラス線とマイナス線を、車体側バッテリーのプラスとマイナスへ接続します。

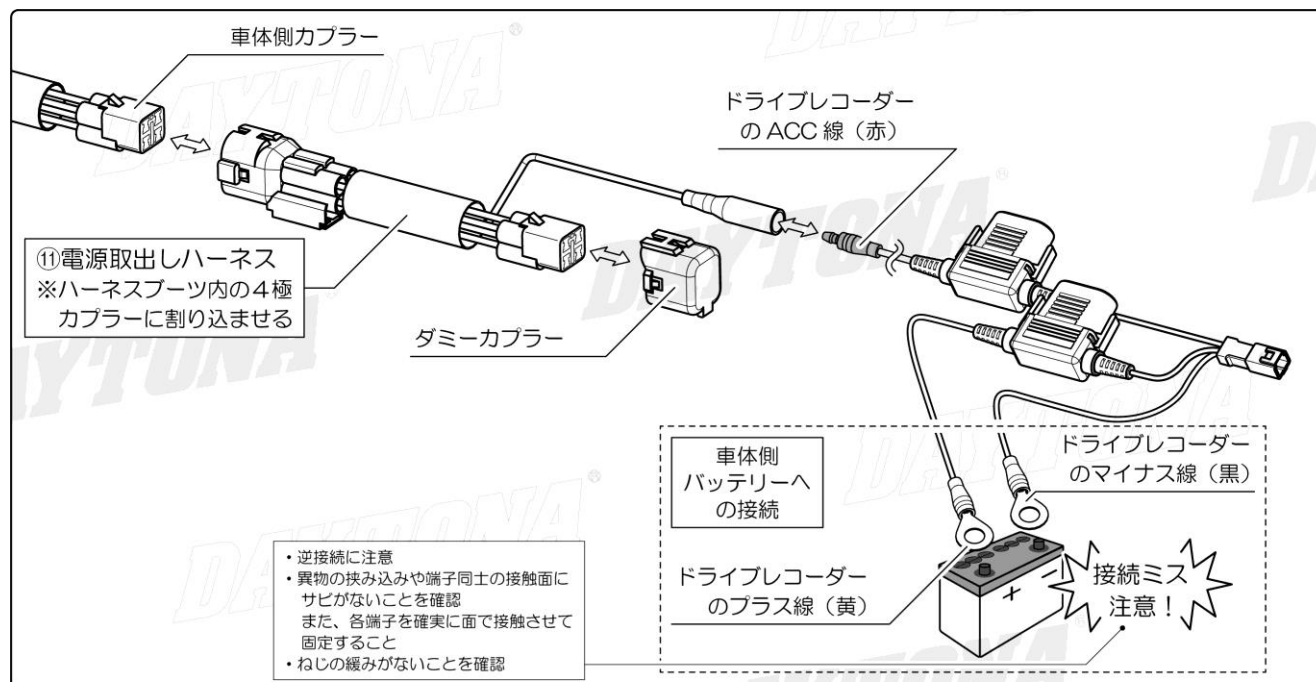
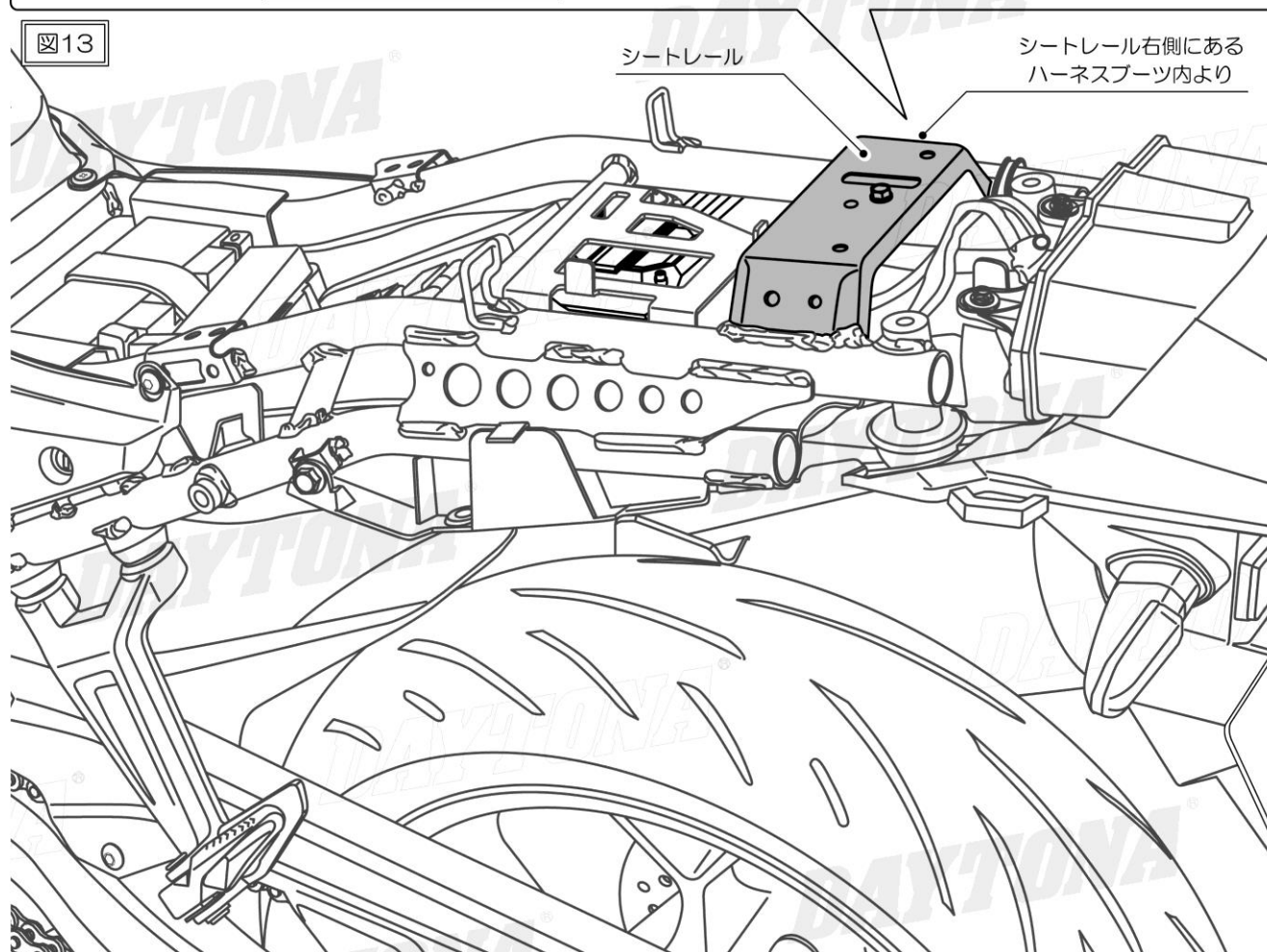


図13

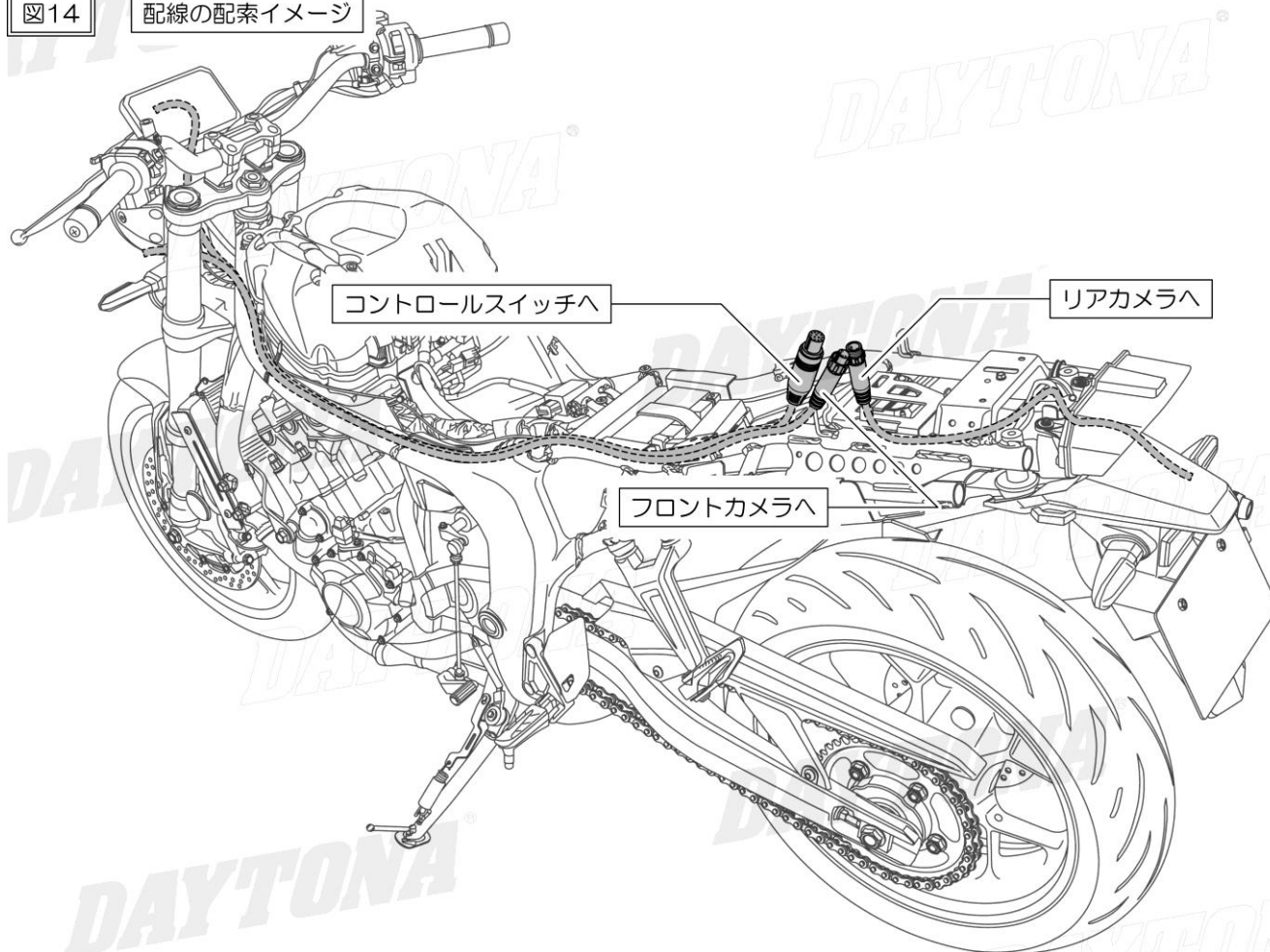


14. ドライブレコーダー配線の配索イメージ 『D：電源ハーネス&本体』

- 図 14 を参考に、ドライブレコーダーの各配線を配索して接続します。
 - ※配線は運転操作に影響を与えないように、結束バンドで固定してください。
 - ※配線のあまり部分は、バッテリー付近のスペースへまとめることを推奨します。
- ドライブレコーダーが正常に動作することを確認します。

図 14

配線の配索イメージ



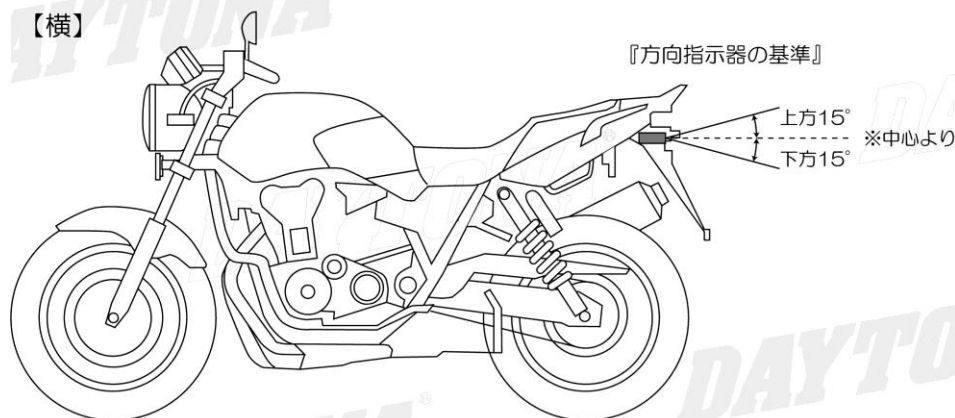
15. 保安基準の確認（リアカメラ取り付け時） 『E：保安基準』

- ・リアにドライブレコーダーを取り付ける際は下の保安基準イラストを参考に方向指示器や尾灯、制動灯、後部反射器の規定範囲を覆わないように取り付けを行ってください。

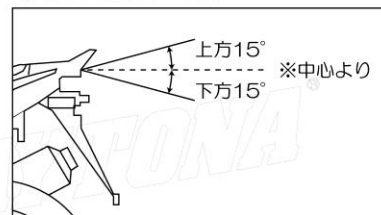
【保安基準 方向指示器/尾灯/制動灯/後部反射器の規定イラスト】

※イラストの範囲内をドライブレコーダーで覆うと保安基準に抵触します。
範囲内に入らないように位置を調整してください。また調整できない場合はご使用を中止してください。

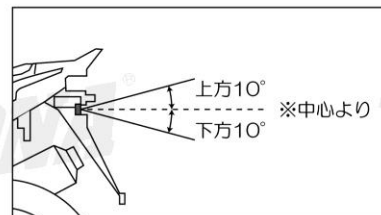
【横】



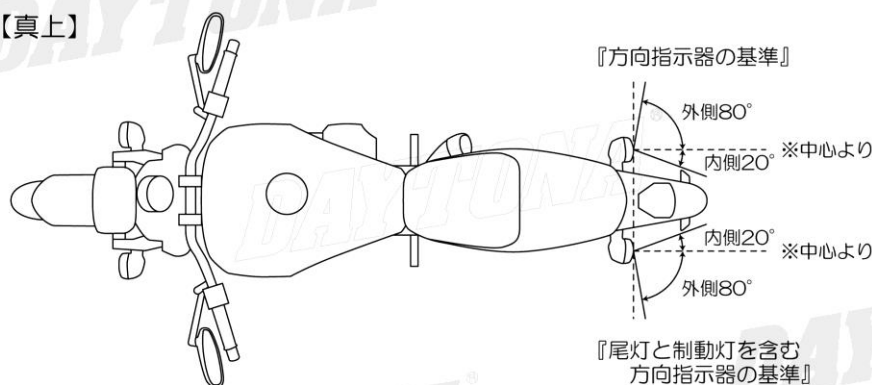
『尾灯と制動灯の基準』



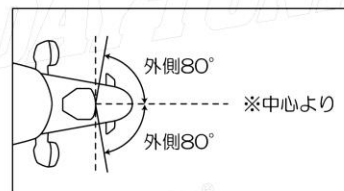
『後部反射器の基準』



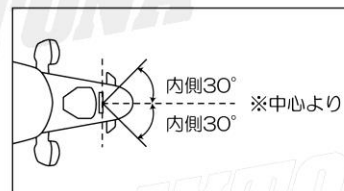
【真上】



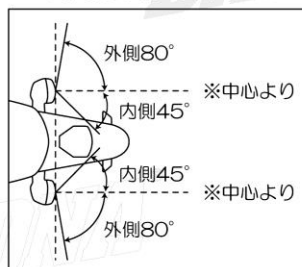
『尾灯と制動灯の基準』



『後部反射器の基準』



『尾灯と制動灯を含む 方向指示器の基準』



16. 純正部品の戻し作業

- ・取り外した、部品を元に戻します。

17. 点検作業

- ・ハンドルを左右にきって接触する部分が無いか、ケーブルや配線が挟まれたり無理に引っ張られていないか、運転操作に影響が無いか確認してください。
- ・各部の点検を行ない、異常が無ければ作業は終了です。

■商品保証について

商品保証とは、通常のご使用において材料または製造上の不具合に起因する故障等が起きた場合、保証規定の範囲において無償修理または交換をお約束するものです。

1. 保証期間は使用回数に関わらず、ご購入日から1年間となります。
2. 保証を受ける場合には、お買い上げ日が証明できる書面（レシートなど）が必要となります。
※保証の対象は、新品かつ正規販売店でのご購入品に限り、個人売買や中古品、インターネットオークションでの購入品は保証の対象外となります。

3. 下記のアドレス（またはQRコード）より、保証規定の詳細をご一読の上、ご理解・ご承諾ください。

デイトナ保証規定

<https://www.daytona.co.jp/warranty/index.php>

※保証を受けるご連絡を以って、保証規定にご同意いただいたものとみなします。



■保証修理の受付について

お買い上げ日が証明できる書面をご用意の上、購入店もしくは当社までご連絡ください。

インターネットお問合せ

<https://www.daytona.co.jp/contact/index.php>



株式会社 **デイトナ**
東証スタンダード上場

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805

転載 本取扱説明書の内容の一部、
禁止 または全ての無断転載を禁止
<https://www.daytona.co.jp>